

令和3年度 中央区立晴海幼稚園	外部評価報告書
外部評価委員：滝波 誠 興石 智宏 永久 亮 齋藤大輝 藤江敏郎 玉川 弘文	報告書作成者：株本 光子
評価時期	令和4年3月
1 重点目標の評価	
重点目標1「小学校第6学年までを見通した中での幼児教育の充実」	
「自分から遊び始める。様々な遊びに興味ともつ、友達に興味をもつ、繰り返し挑戦するなど姿が見られた」と保護者95%、教員100%が回答した。「小学校や保育所、こども園と交流した経験を話したり遊びに取り入れたりする姿が見られた」と保護者86%、教員100%が回答している。様々な人とかかわる楽しさを感じたり、小学生への憧れの気持ちをもったりするなど、幼児の成長につなげることができたと振り返っている。本園の目指す幼児の姿を具体的に示し、このような姿が見られたかを問う質問であったことも保護者に分かりやすかったと思われる。一方、②の質問では、保護者の10%が「分からない」と回答した。園では、「保幼小の交流について、十分発信ができていなかったことが読み取れる、情報発信に課題が残る」と考察している。情報発信は、回数、対象、内容、伝達手段、表現方法などのどこをどう改善すべきか考えることが大切である。	
重点目標2「運動遊びの充実」	
「運動遊びへの興味・関心が高まり、体を動かす様々な活動に取り組んでいた」と保護者と教員の90%が回答した。「ボール遊びや投げる遊びを楽しんでいる様子が伝わってきた」と回答した保護者は95%、教員は100%であった。運動遊びの興味を高めるとともに、「投げる」遊びに着目し、求める姿を具体的に示したことも成果につながったと考えられる。一方、わからないと回答した保護者がいる。保護者との連携によって教育の目標を達成するためには、保護者が深く理解できるようにすることが大切である。発信の方法をさらに工夫していただきたい。	
重点目標3「地域・保護者との連携の充実」	
「保護者専用ホームページの開設で日々の教育内容がより伝わってきた」と回答した教員は、100%、保護者は92%である。「手紙、掲示物、降園時のホワイトボードの掲示など分かりやすかった」の回答は、保護者73%、教員56%であった。「不満である」と「わからない」を合わせると約25%である。保護者専用ホームページはよかったが、いつ更新したかわからなかった。更新時にホワイトボード、メールなどで知らせたいなどの意見もあった。	
「手紙、掲示物、降園時のホワイトボードの掲示など～」のデータ分析として「保護者の率直な思いが込められているように見受けられる」がある。これは、感想である。分析は、なぜこのようなデータかを教員全体で考え原因を明らかにすることである。原因をなくすための改善策につなげるためである。今後に生かしていただきたい。	
2 今後の改善に向けた意見	
○ 「分かりにくい」という回答を0に近づける。 「分かりにくい」は、「分かりたい」「協力したい」という気持ちの表れである。情報発信は、回数だけでなく、発信時期、発信内容、発信方法など多面的に見て伝える必要がある。大切なことは、受け取った保護者や地域の方に理解していただけるように書き方を工夫することである。	
○ 「重点目標1」は、園の願いがわかる表現を目指す。 「小学校第6学年までを見通した中での幼児教育の充実」は、具体的に理解することは困難である。誰が聞いても、目標に込める願いを理解できるように表現にして発信することが大切である。	
3 その他	
今年度の成果に至った教員の日々の取組を、一人一人が振り返り、自信をもち次年度に生かすようにしていただきたい。教員の熱意と指導力が園の力の源である。	

令和3年度 中央区立晴海幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員：輿石智宏、眞野、渡部、藤江敏郎
株本光子、細谷美明 ※敬称略

報告書作成者：細谷 美明

評価時期 令和4年3月

1 重点目標の評価

重点目標1について(小学校第6学年までを見通した中での幼児教育の充実)

教員の自己評価や保護者の自由記述を見る限り、目標はおおむね達成できたものと判断します。幼・小連携の重要性が叫ばれる中、幼稚園、小学校の事情から十分成果を挙げられないところが多く存在することも事実です。しかし、本園については豊かな教育活動の実施により園児たちの豊かな学びを達成しており、次年度以降もPDCAサイクルに基づいたより効果的な活動の継続を期待しています。

重点目標2について(運動遊びの充実)

この項目についても、教員の自己評価や保護者の自由記述を見る限り、目標はおおむね達成できたものと判断します。コロナ禍において制限された環境の中で効果的な運動遊びの実施は困難を伴いますが、保護者からも高い評価を得ていることは園のたゆまぬ工夫・努力によるものと判断します。近年、子どもの投てき力や持久力の低下が諸調査により問題視されていますが、「楽しい運動遊び」を重点に行った本園の取組は他の園の一つの参考事例となるのではないのでしょうか。

重点目標3について(地域・保護者との連携の充実)

幼稚園教育では小学校以上に保護者や地域との連携が重要な要素です。今年度からホームページに「保護者専用ページ」を開設したことは、本園がそのことを十分理解し自園の教育の重要なツールとして活用し本園の教育目標達成により近づけたことを意味します。教員の自己評価や保護者アンケートではその成果がまだ十分出ていないことが見て取れますが、今年度の評価を分析し次年度に生かすことで補完することができるものと考えます。

2 今後の改善に向けた意見

教育は、幼稚園での活動だけでは十分な成果は出ませんし見えないことも多々あります。そのために連携教育が必要とされています。保護者・地域といった違った視点での指摘や小学校など系統的な指導等がその例です。特に、小学校からの情報は自園の教育の振り返りのためのよき材料です。発達段階に応じた「最適な学び」を充実させるためにも、これまで以上に幼・小連携教育の推進を期待します。

3 その他の意見

幼稚園教育において保護者からの意見は重要です。同時に育児に関する悩みを持つ保護者も多く存在するものと思われます。そうした保護者の声を傾聴し適切なアドバイスやともに考える姿勢も幼稚園において大切な役割だと考えます。園児や保護者が抱える課題を把握しより適切な教育活動に展開することが誰からも信頼される幼稚園づくりにつながるものと考えます。その姿を目指し今後も努力を続けてください。